

第190回沖縄県都市計画審議会(令和7年度第1回)

議事概要

- 1 **開催日時** 令和7年8月26日(火) 午前10時00分～午前11時21分
- 2 **開催場所** 沖縄県市町村自治会館 4階大会議室
- 3 **出席委員** 池田孝之、神谷大介、伊藤早苗、謝花喜一郎(欠席)、大城真依子、
(敬称略) 野口真理、山城一美、奥村徳仁(代理:和田涼)、渡邊泰輔(代理:
親川和人)、山本大志、本村龍平(代理:亀谷匡哉)、山内敏雄(欠席)
佐喜眞淳、新垣光栄、宮里洋史、赤嶺奈津江

4 議 題

(1) 沖縄県決定案件

議案第1号 : 那覇広域都市計画道路の変更
「3・2・14号 浦添西原線」

5 議事の概要

(1) 沖縄県決定案件: 議案第1号

ア 事務局が資料に基づき説明を行った。

イ 委員から次のような発言があり、事務局が次のように応答した。

委員発言要旨	事務局応答要旨
・行政サイドの見解に対して住民からの再度の意見はなかったか。	・都市計画原案の縦覧を2週間行い、その原案に対して公述人3名の方からご意見を頂き、事務局より見解の内容について説明を行った。その後、案の縦覧の際には新たな意見書の提出はなかった。
・騒音、振動に関する調査結果で将来予測が基準値65dBに対して、66dBと1dB超過がしているとのことだが、防音壁での対応はどの位置で実施するのか。 ・浦添西原線が新しく整備され、交通量が増加し、騒音が増した時にどのような対応を考えているか。	・実際に道路が整備された後に騒音等に関して環境影響評価の事後調査を行い、その結果を踏まえて防音壁の設置等について検討を行う。 ・(事業予定者) 環境調査は道路の計画ラインから一番近い住宅の側を予測地点として調査・評価している。

・地滑り対策について、Aブロック側の地滑り対策工事をどのように施工するのか。	・（事業予定者）Aブロックの地滑り対策については、今後の詳細設計にて施工方法等を検討していきたい。
・この道路は西原町役場側を通る計画であり、将来は緊急輸送道路に指定されると思われるので、無電柱化は必要と考える。道路整備が完了した後に改めて工事をすると費用が掛かるので、道路整備する際に無電柱化するための整備を併せて実施すべきではないか。	・（事業予定者）現時点で無電柱化の整備路線の対象とはなっていないが、関係機関と連携して無電柱化の検討を行いたい。
・歩道橋設置の要望に関して、坂田ハイツは高齢化率が高く、ウォーキング等で西原運動公園を利用する方が多いので歩道橋が必要であるという意見があったが、高齢者のためのバリアフリーについてはどのように考えているか。	・今回、横断歩道橋に代わって浦添西原線の上空を横断する事が出来るようボックスカルバートが整備される。また、道路の各施設については、バリアフリー関連の基準等に準じた整備がされる。 ・横断歩道を渡る歩行者の青信号時間等については、県警との調整を行い、現場の実情に応じた運用を検討する。

ウ 原案どおり同意する旨可決された。

6 議事結果

沖縄県決定に関する案件１件について、原案のとおり可決。

7 会議の公開・非公開の別 公開

令和７年９月１７日

土木建築部 都市計画・モノレール課